

巧みな連係により人命救助で感謝状贈呈

平成 24 年 7 月 25 日

平成 24 年 5 月某日、十日町市内の市道路上に 77 歳の女性が倒れているところに偶然通りかかった太田優子さん（市内寿町 4・市内会社員）と大平弥生さん（市内田川町 1・市立小学校教諭）は、迅速な 119 番通報と適切な応急手当を実施したことから、十日町地域メディカルコントロール協議会（十日町地域 MC 協議会・池田透会長）より感謝状を贈呈されました。



（左から）

十日町地域MC協議会 池田会長

太田優子さん

大平弥生さん

十日町地域消防本部 山田消防長

第 1 発見者である太田さんは、自家用車で現場を通りかかった際、道路上に倒れている女性を発見して、車を停めて駆け寄り、その女性に反応がなかったことから、すぐに消防本部へ 119 番通報しました。

通報の途中、帰宅途中の大平さんが偶然通りかかり迅速に応急手当に協力しました。

大平さんは「応急手当普及員」の資格を有しており、救急隊が到着するまで心肺蘇生を継続し、太田さんは消防本部通信指令室からの口頭指導の内容を効率的に伝えるため、通話中の携帯電話を大平さんの耳元にあて、効果的な心肺蘇生の実施に協力しました。

救急隊が現場に到着、除細動が実施され病院収容、病院内で心拍が再開し、その 4 日後、市外の専門病院へ転院となりました。

現在は会話及び歩行も可能となり経過は良好となっているそうです。

倒れている人を発見して駆け寄る勇気、偶然にもかかわらず、騒然とした現場での的確な判断と対応など、「救命の連鎖」が円滑に繋がったことにより傷病者の予後と家族に与えた影響は非常に大きいものがあり、その功績は高く評価されます。